

# 訪問リハでつなぐ 絵手紙リレー

医療法人社団 らぽーる新潟

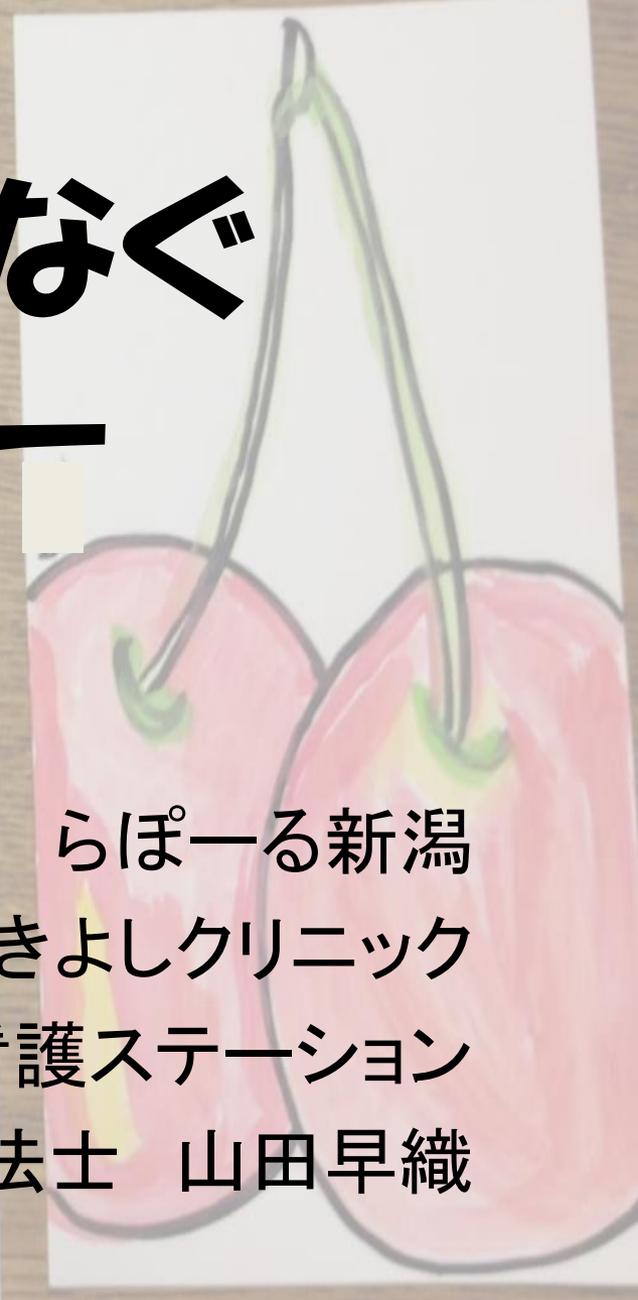
ゆきよしクリニック

ゆきよし訪問看護ステーション

作業療法士 山田早織

椿の花

椿



# はじめに

**訪問リハビリテーション(訪問リハ)の目的は**

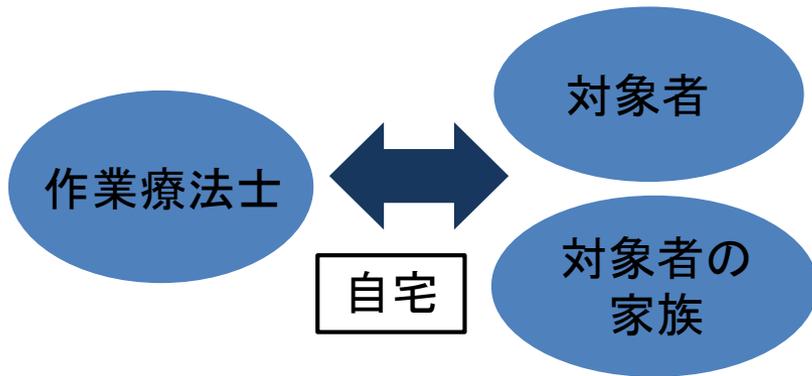
「**在宅という現実の生活の場**で、

日常生活活動の自立と社会参加の向上を図ること」

心理的要因や環境的要因がからみあって生じる

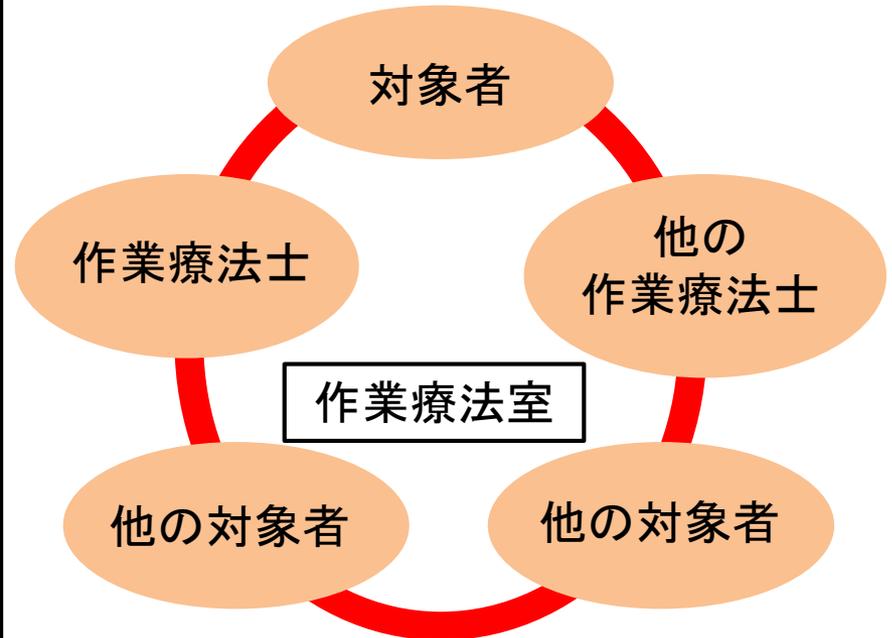
**生活機能低下にアプローチする視点**が重要

## 訪問リハでの 作業療法



対象者と他者との  
交流が少ない

## 病院・施設での 作業療法



対象者と他者との  
交流が多い

# ちょっとさみしく感じる 訪問リハですが・・・

今回、ある1人の訪問リハ利用者と  
行った絵手紙が他の利用者にも広がり、  
利用者間でのつながりが生まれた。

それにより個々の心理面や環境面に良  
い変化がみられたため、報告する。

# 症例1 Aさん 66才 女性

平成21年1月 左視床出血発症

- 右運動麻痺は軽度 感覚は重度鈍麻
- 微細な運動コントロールが困難
- 筋緊張の亢進により肩甲骨外側～上腕に痛みあり
- 希望:「右手の動きをもっと良くしたい」

〈作業療法の方針〉右麻痺側上肢・手指機能の向上



プログラムに絵手紙を追加

# Aさんの経過

色鉛筆で下絵の色塗りから開始



水彩絵の具に変更

手指の握りこみ，筆先の折れを見て確認し，修正する



下絵描き，色塗り，文字入れの全行程を1人で行う



右上腕部の疼痛軽減

右上肢の使用機会の増加

# Aさんの作品





咲  
み  
た  
れ  
る  
水  
仙  
仙



か  
れ  
ん  
な  
花  
チ  
ユ  
リ  
花



ワ  
イ  
ソ  
の  
果



金  
剛  
に  
か  
か  
せ  
た  
大  
根



か  
ん  
た  
ん  
の  
か  
い



# 症例2 Bさん 77歳 女性

平成22年3月 右視床出血発症

- ・左片麻痺は軽度だが、パーキンソン病症状（筋固縮，寡動，姿勢反射障害）あり
- ・認知面：空間認知障害，注意障害，意欲低下あり
- ・活動量低下を娘に非難され，落ち込む様子あり

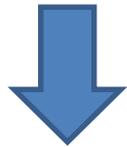
<作業療法の方針> 活動意欲と自信の向上



追加プログラムに余暇活動の提供を検討

# AさんからBさんへのリレー

Aさんに、「絵手紙の先輩のお手本を他の方に見せたい」と依頼し、了承を得る



Aさんの絵手紙の写真をBさんに見せ、右片麻痺がある方が描いたことを説明



意欲の低いBさんが絵手紙に挑戦！



# Bさんの経過

水彩絵の具での色塗りから開始 1週間に1枚作成



仕上げる絵手紙が2~3枚に増加



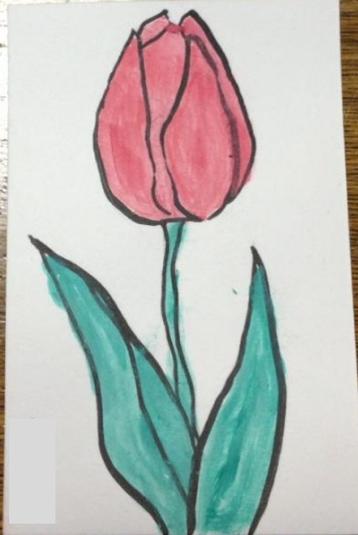
デイサービスの職員へのプレゼント  
→喜ばれたことで意欲が向上した



「笹団子が描きたい」「うちの犬の絵を描いてきてほしい」  
日中の活動時間が増加・娘との関係性が改善

# Bさんの作品







# 症例3 Cさん 90歳 男性

誤嚥性肺炎後 廃用症候群

- ・四肢, 体幹の筋力低下, 体力低下あり
- ・日中の臥床時間が長く, 活動量低下あり
- ・水彩画が趣味だったが, 現在は行っていない

<作業療法の方針> 日中の活動量の増加



Aさん, Bさんの絵手紙の作品を見せ,  
絵手紙作りに誘ってみたところ...

# Cさんは応援団に！

「自分では描く気になりませんが、  
2人の作品を楽しませてもらいます」と話す



「新しい作品はできましたか？」と関心を示し、  
絵手紙を通して人生史を振り返りを行っている



CさんがAさん、Bさんの絵手紙を賞賛し、作品を楽しみにしていることを伝えると、両者の意欲が向上した

**こうして絵手紙の「ルー」がつながった！**

# 考察

自分の行っていることが他者に認められることで、  
ひとは自己確認でき、他者に喜ばれる体験により  
自己有用感が生まれる(山根 2010)

## 絵手紙の主効果

Aさん

上腕部の疼痛軽減  
右上肢の使用機会の増加

+

絵手紙の先輩と  
しての自己確認

Bさん

自信・意欲の向上  
娘との関係性の改善

+

絵手紙を始める  
きっかけ

Cさん

人生の振り返り  
生活の楽しみ

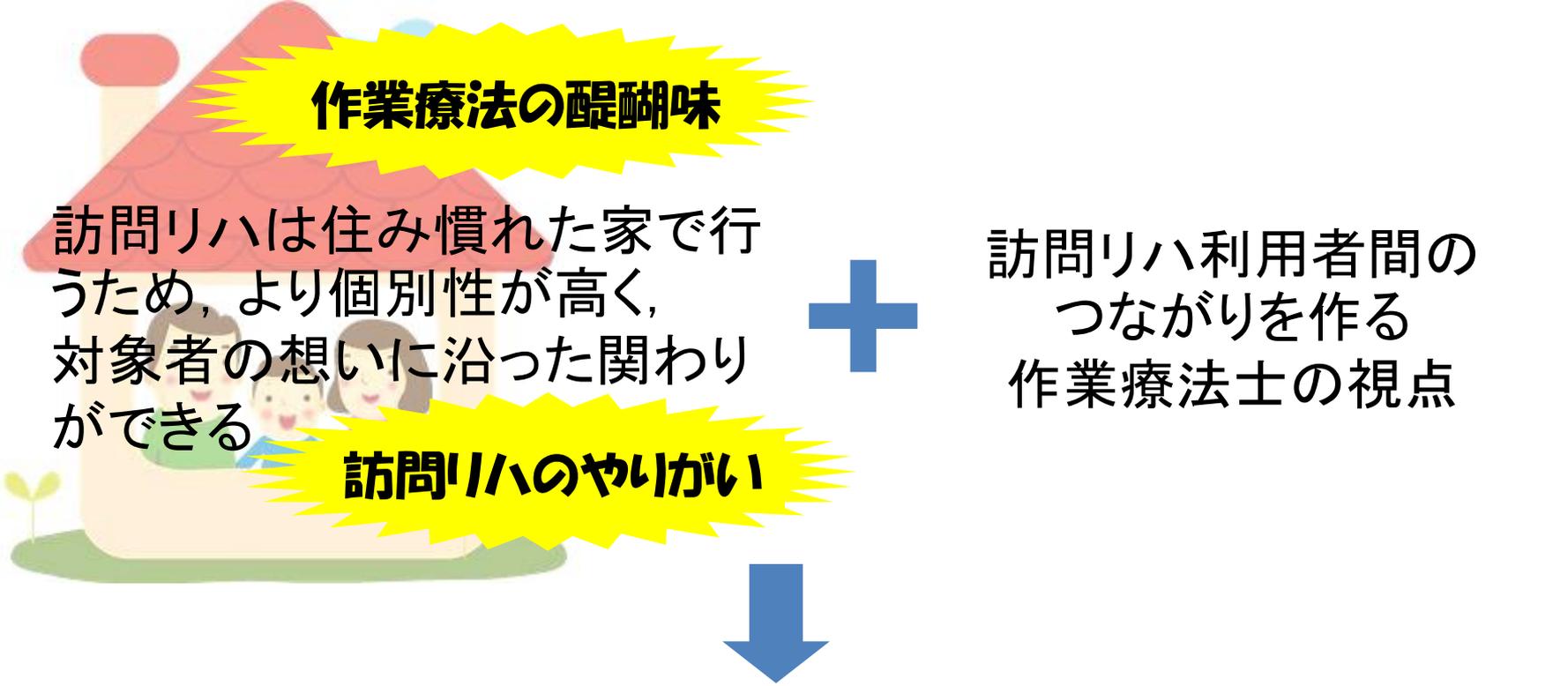
つながりを持ったことで  
得られた効果

+

Cさんの  
賞賛による  
自己有用感  
の向上

今回の例を通して気づいたこと

- ・他者に認められること, 他者との交流の重要性
- ・訪問リハでも利用者間のつながりができること



### 作業療法の醍醐味

訪問リハは住み慣れた家で行うため、より個別性が高く、対象者の想いに沿った関わりができる

### 訪問リハのやいがい

訪問リハ利用者間の  
つながりを作る  
作業療法士の視点

**より良い訪問リハの提供・利用者と家族の生活の質の向上へ!**



医療法人社団

らぽーる新潟



・ゆきよしクリニック

≫ 整形外科・リハビリテーション科

≫ 訪問リハビリ

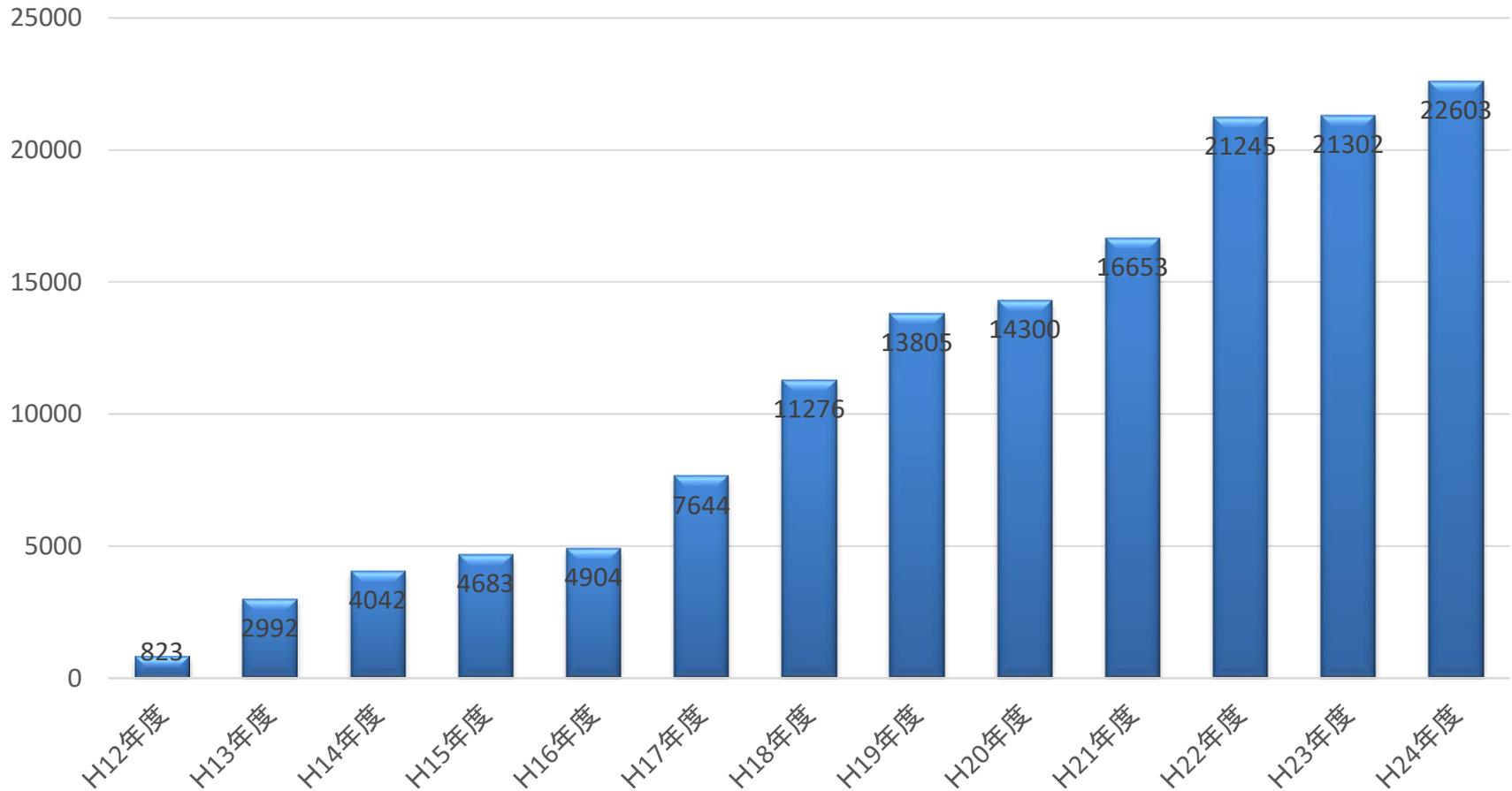
≫ 通所リハビリ

・ゆきよし訪問看護ステーション

・楽しいデイサービス

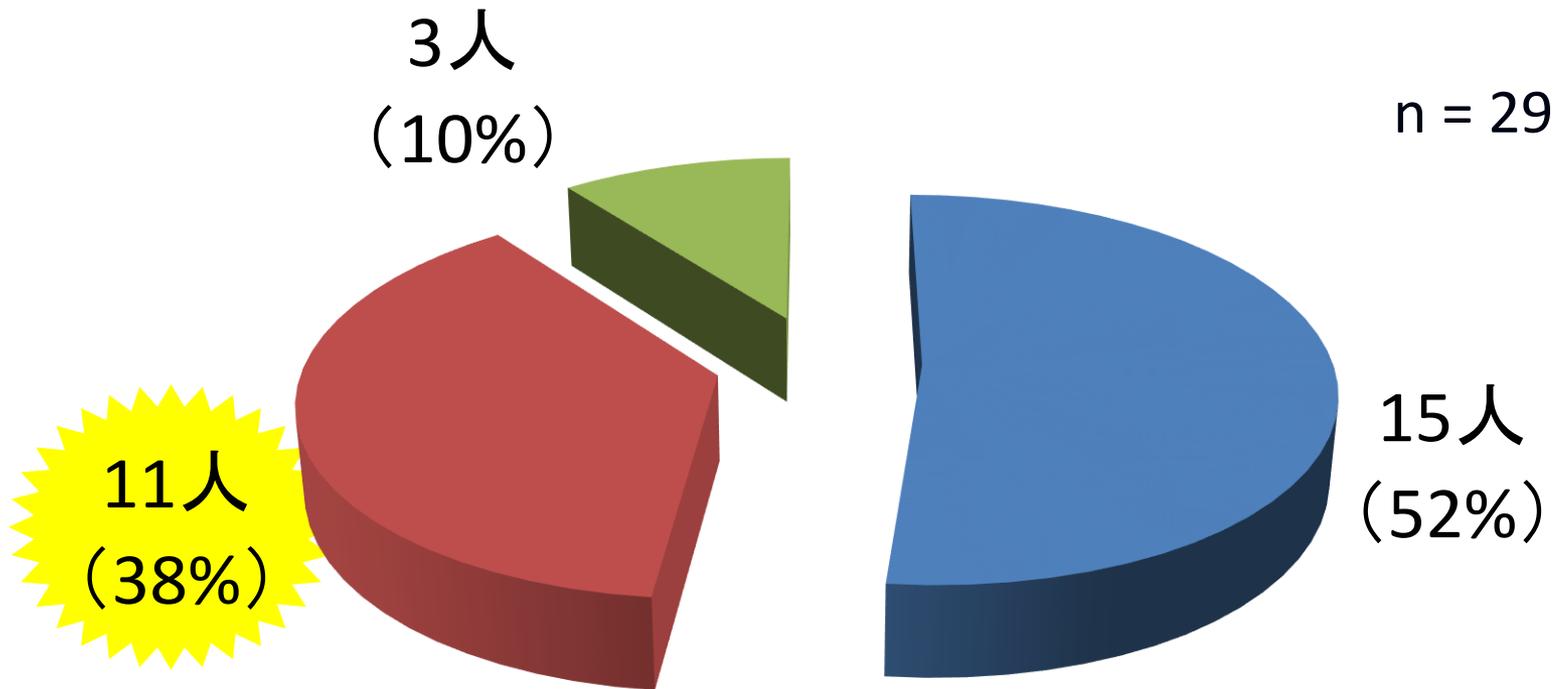
・ショートステイ・ゆきよし とやの

# 訪問リハビリ実施件数



訪問件数は増加傾向!!

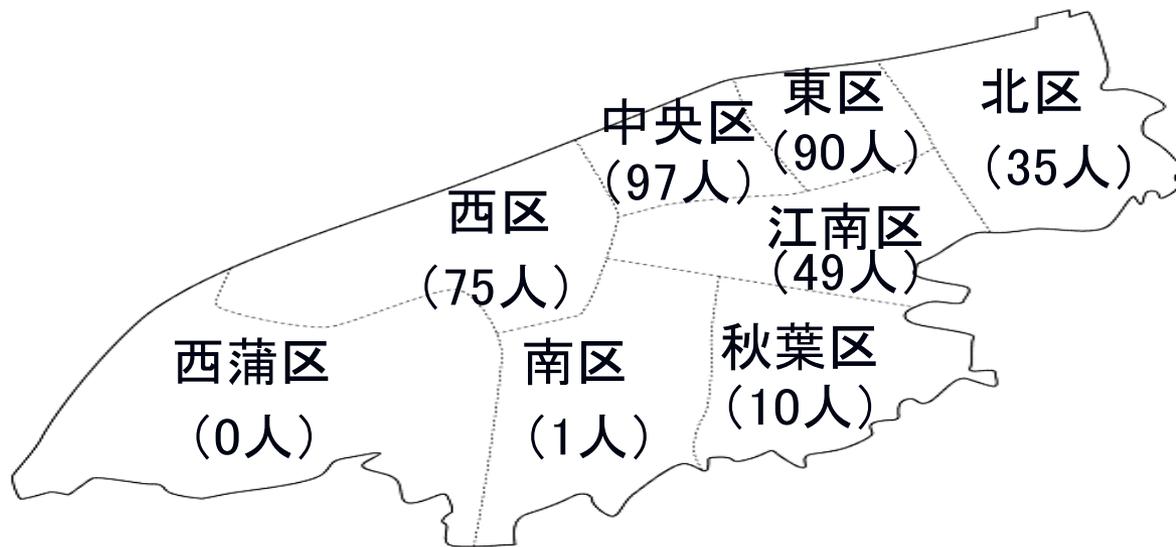
# 訪問リハビリ療法士の構成



OTの経験年数は 3～17年  
10年以下のOTが 8名！

- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士

# 新潟市内訪問エリア 区別



## その他の市町村

- ・新発田市 (48人)
- ・阿賀野市 (8人)
- ・五泉市 (1人)